

合理的配慮検討シート

小学校 年 組 番 氏名：

1. 子どもの困難さ・具体的な場面

● **子どもが学級でうまく過ごすことができない。**

- ・ 子ども同士がうまく関係を築くことができず、トラブルが頻発している。
- ・ 子ども同士の解決ができず、保護者を交えても解決できないこともある。
- ・ 学級担任と子どもや保護者がうまく関係を築くことができていない。
- ・ 子ども同士のトラブルが多く、学級担任が収めることができず、また、保護者との関係もうまく築くことができていないために、学級が落ち着いていない。

2. 隠れた要因

● **子ども同士がうまく関わることに難しさがある。**

- ・ 自分への言動に対して、過剰の反応をすることがあり、解決できない。【反応抑制】
- ・ 他者が自分に関わることに對して、落ち着いて関わるできない。【感情抑制】

● **保護者が自分の子どもを中心に考えていることから、他者への理解が難しい。**

- ・ 自分の子どもを中心に考え、周りもそうあるべきであると考えている。【優先順位】
- ・ 保護者の考えが、子どもにも映り、他者を受け入れることができない。【優先順位】

3. 視点

- 子どもが落ち着いた学校生活を送ることができていない。
- 他者からの関わりに対する過剰の反応が見られ、暴言や暴力をふるうことがある。
- 子どもが筋道立てた考え方ができず、自分の考えに沿った言動が見られる。
- 他の子どもにも自分の考え方があり、同様に一人の子どもであることが理解できない。
- 保護者が子どもの話を信じ、他者の話を受け入れることができない。
- 保護者は「子ども・担任を替えて欲しい」「学級を替えて欲しい」と求めてきている。

4. 考えられる合理的配慮

--